

岩竹理恵＋片岡純也×コレクション 重力と素材のための図鑑

Iwatake Rie + Kataoka Junya, and the Museum Collection: An Illustrated Guide for Gravity and Materials
神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 / 2025.2.1 [土] → 4.13 [日]

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 Tel. 0467-22-5000
2-8-1 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005 https://www.moma.pref.kanagawa.jp

開館時間/Hours
9:30 → 17:00

入場は16:30まで
Last admission at 16:30

休館日/Closed

月曜日 2.24を除く
Mondays (except 2.24)

観覧料/Admission

一般 Adults: **¥700** (600)
20歳未満・学生
Under 20 and Students: **¥550**
65歳以上 (450)
¥350
高校生
High school student: **¥100**

●()内は20名以上の団体料金です。●中学生以下の方と障害者手帳等、ミライロIDをご提示の方(および介助者原則1名)は無料です。ミライロIDについて、通信環境等の影響によりタブレット端末等の画面で必要な情報が確認できない場合は、原本の提示をお願いすることがあります。●ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日: 2月2日、3月2日、4月6日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)で観覧いただけます。●その他の割引につきましてはお問い合わせください。●最新情報は美術館ウェブサイト等をご確認ください。

●Prices in () indicate group (over 19 persons) discount tickets. ●Junior High School and under: Free. ●A person with disabilities and one accompanying caretaker are admitted free of charge upon presenting Disabled Person's Handbook or an equivalent government-issued identification. ●"Family Communication Day" offers a discount for all group (except those 65 or over) accompanying children under 18 on the first Sunday of every month. ●Please check our website for the latest information.

主催: 神奈川県立近代美術館
助成: 公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
支援: 令和6年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業
協力: Kawara Printmaking Laboratory Inc.

イベント/Events

・アーティストによるギャラリートーク
岩竹理恵＋片岡純也
3月1日 [土]、4月13日 [日]
16:00-16:45 ※申込不要、無料
(当日の観覧券が必要です)

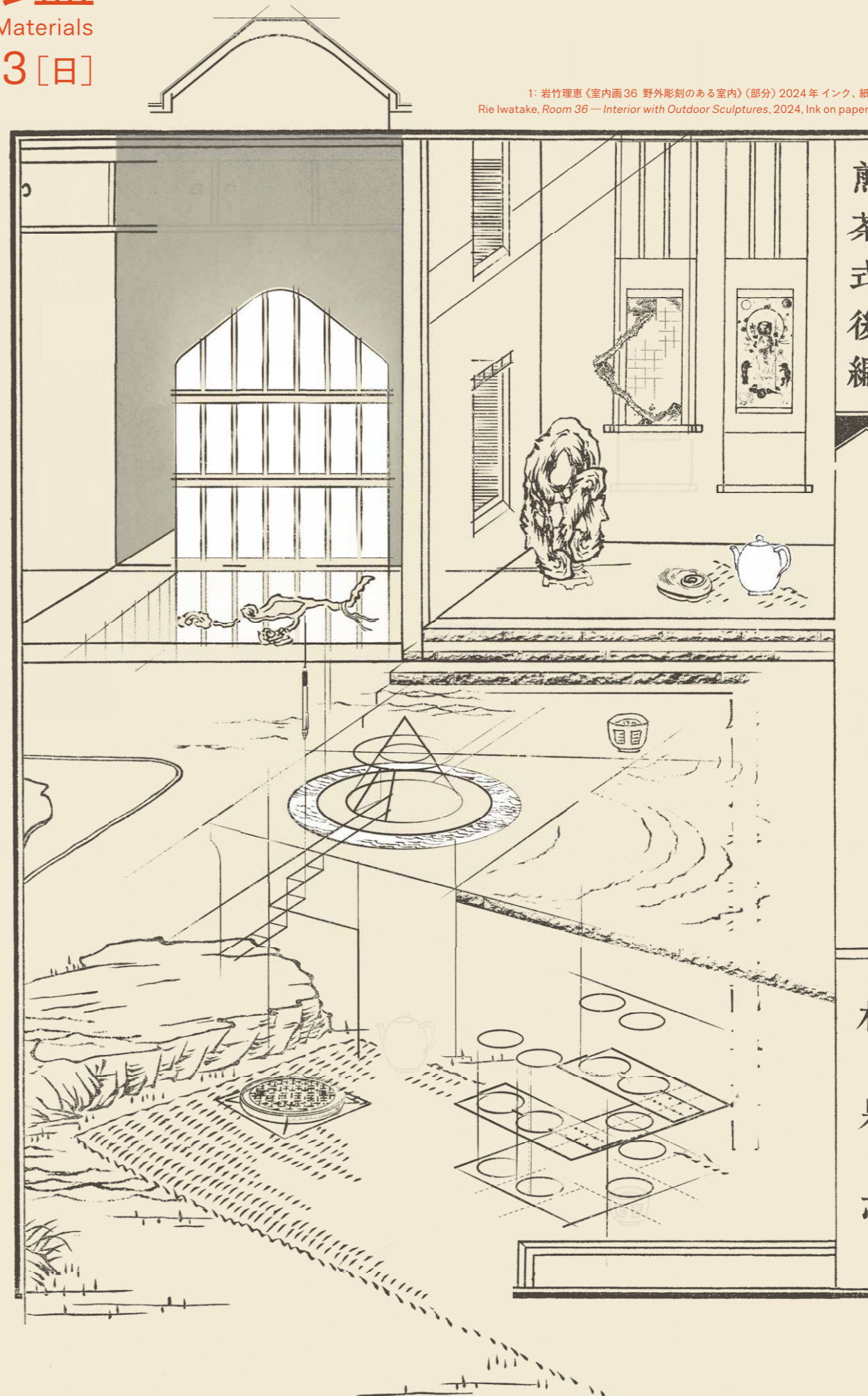
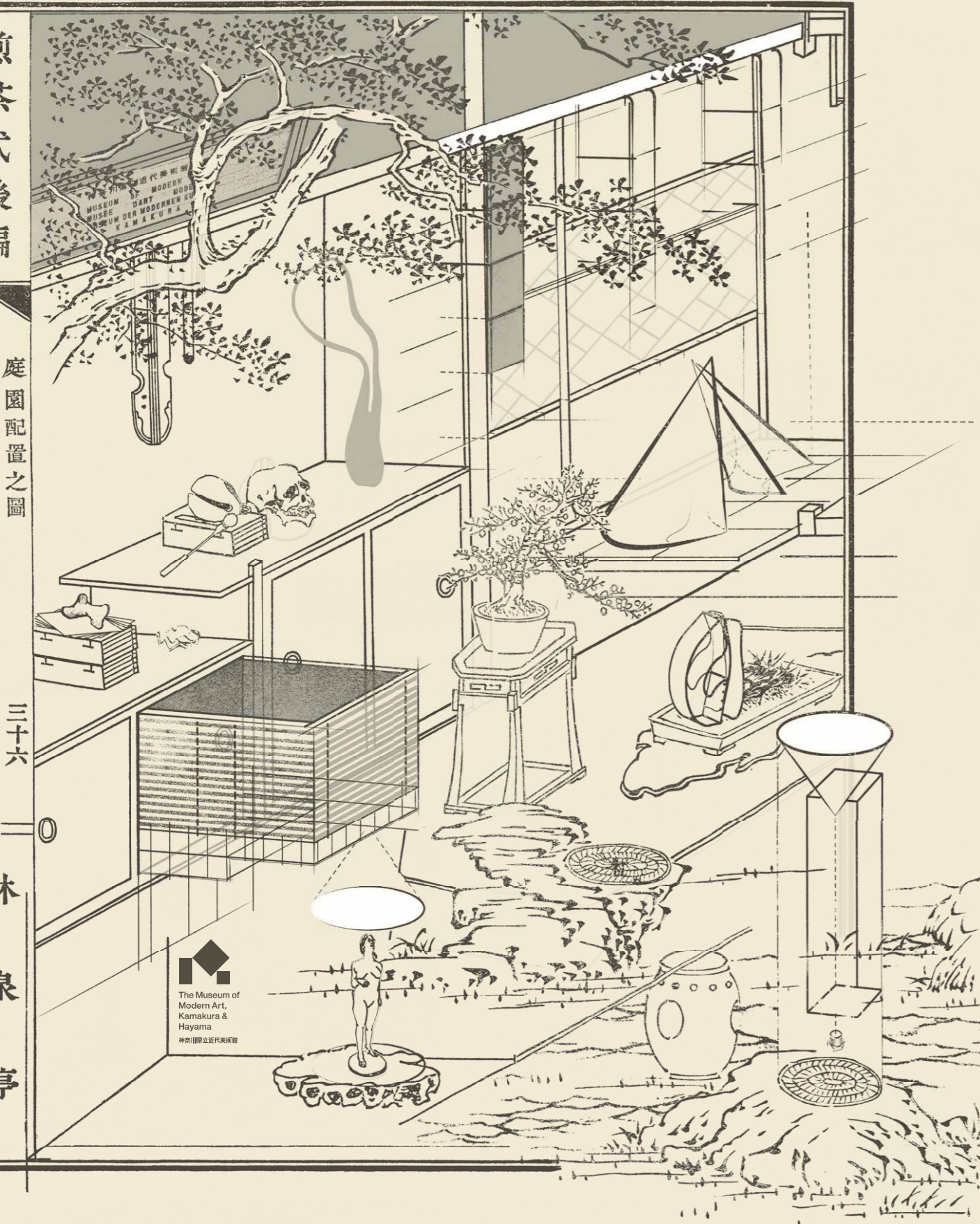
・担当学芸員によるギャラリートーク
3月15日 [土]、3月29日 [土]
14:00-14:30 ※申込不要、無料
(当日の観覧券が必要です)

・ワークショップ「やじろぐ枝」
身近な素材を使ってオブジェをつくります。どなたでも参加できます。
3月25日 [水] 13:00-15:00
講師: 岩竹理恵＋片岡純也
※申込方法など詳細は当館ウェブサイトにて2月上旬に公開します。

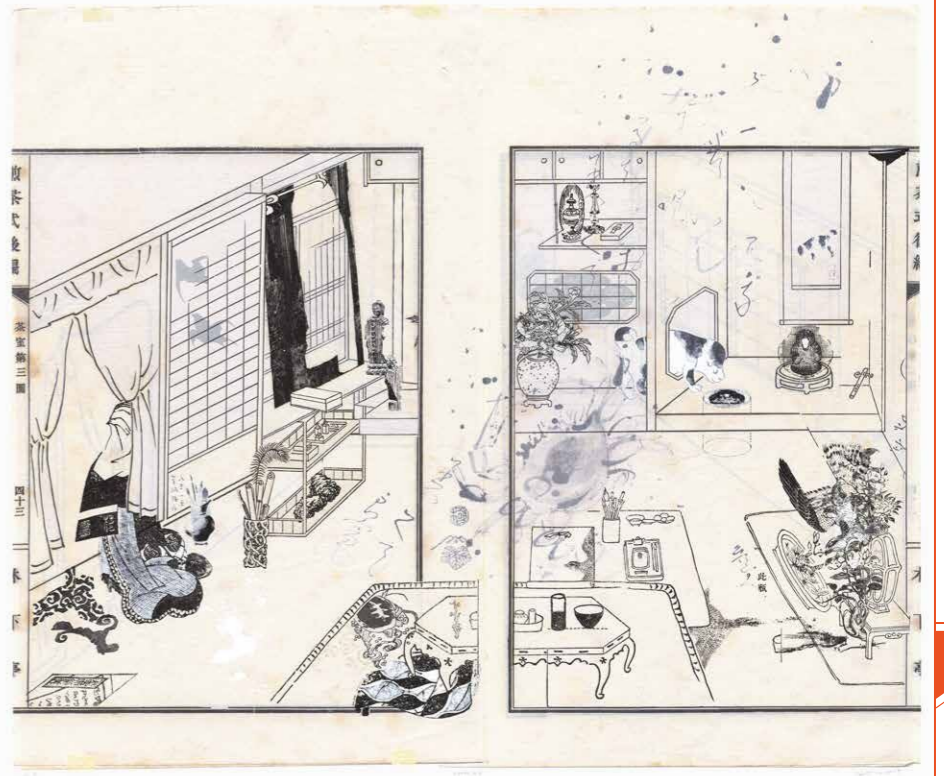
※その他のイベント等は当館ウェブサイトでお知らせします。
*The full program for the exhibition will be announced via our website.

同時開催/Also on View

・企画展「栗林隆 Roots」
神奈川県立近代美術館 葉山
Tel. 046-875-2800
2024年12月14日 [土] - 2025年3月2日 [日]



1: 岩竹理恵《室内画36 野外彫刻のある室内》(部分) 2024年 インク、紙
Rie Iwatake, Room 36 — Interior with Outdoor Sculptures, 2024, Ink on paper



2

岩竹理恵十片岡純也
神奈川県在住。2013年以降、パリ、リーゼイ島（アイランド）、台北、成都などで滞在制作。瀬戸内芸術祭2022、MOT アニュアル2020（東京都現代美術館）、BankART Under35 2017、OSTRALE Biennale 2019（ドレスデン、ドイツ）などに参加。

- 2: 岩竹理恵《室内画43 木下コレクションのある室内》2024年/インク、紙
 - 3: 岩竹理恵《衣紋掛に係る時空のダイアグラム》2024年/インク、紙
 - 4: 片岡純也《やじろく枝》2023年/枝、ガラスコップ、郵便き棒、磁石、モーター他
 - 5: 片岡純也《P波またはS波の繰り返し運動》2023年/スプリングコイル、上皿天秤、モーター他
 - 6: 片岡純也《茶筌による巻貝の演奏》2023年/茶筌、巻貝、トタン、モーター他
 - 7: 片岡純也《ミン台の上の木魚と視線の連絡》2024年/ミン台、木魚、骨格模型、モーター他
 - 8: 依屋宗達《狗子図》江戸時代初期/紙本墨画/神奈川県立近代美術館
 - 9: 伝海田采女筆《歡喜天曼茶羅》14世紀頃/絹本着色/神奈川県立近代美術館
- ※2-7 撮影：高橋健治 ※8,9 木下翔返コレクション

2013年よりユニットでの作品発表を始めた岩竹理恵十片岡純也（共に1982-）。イメージの連想によって絵画の空間性を思索する岩竹の平面作品と、身の回りや自然の現象から着想を得た片岡のキネティック作品とを、インスタレーションとして構成することを通して、身体性や時間性を喚起する新たな視覚体験を促してきました。本展は、曼茶羅、大津絵、鯨絵、茶器などの日本美術を中心に作家と学芸員が作品を選定し、当館のコレクションに新たな光をあてる企画です。対象を他のものになぞらえ、そこに実在しないものがあるように表現する「見立て」や、浮世絵の画中画に示される絵画の「入れ子」構造など、日本美術に見られる造形的な特色と魅力を、遊び心のあるユニークな手法を通して探究します。

※岩竹理恵が本展のために制作した新作（1、2）には当館の野外彫刻と所蔵作品が登場します。会場で探してみてください。



3



——
Analogies for the Human Body and the Landscape
人体と風景のアナロジー

岩竹理恵十片岡純也×コレクション 重力と素材のための図鑑



8



9

——
当館屈指の日本美術の名品を紹介
Masterpieces of Japanese Art from the Museum Collection

“Mitate” based on materials
——
素材による「見立て」

鎌倉別館への交通案内:

公共交通: JR横須賀線・江ノ島電鉄「鎌倉」駅下車徒歩約15分、または東口2番のりばから江ノ電バス（大船駅・上大岡駅・本郷台駅行、約5分）で「八幡宮裏」下車徒歩2分。JR横須賀線「北鎌倉」駅より徒歩20分、または江ノ電バス（鎌倉駅東口行、約5分）で「八幡宮裏」下車。

車: 横浜横須賀道路、朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を經由して鶴岡八幡宮前へ約5km。

※駐車場はございません（障がい者用を除く）。障がい者用駐車スペースをご利用の方は、事前にご連絡ください。



4



5



6



7